

BMC プログラム・海外派遣報告書

化学専攻 天然物有機化学研究室 博士後期課程2年 下山 敦史

参加学会：10th International Endotoxin and Innate Immunity Society (IEIIS) meeting

会場：Edinburgh University, Scotland, United Kingdom

派遣期間：2008年7月29日～8月3日

BMC インテグレートイッド大学院理学教育プログラムの御支援の元、私はエディンバラ大学にて催された「10th International Endotoxin and Innate Immunity Society (IEIIS) meeting」に参加し、ポスター発表を行わせていただきました。エディンバラ大学は、スコットランドの首都であり、街全体が世界遺産に登録されているエディンバラの旧市街に位置し、豊かな歴史や文化が息づくたいへん美しい大学でした。

本学会は細菌の細胞表層成分である免疫増強複合糖質リポ多糖の化学と生物学、ならびに近年、関連受容体の発見により

注目を集めております自然免疫について討議するために2年に1回開催されている国際学会です。著名な研究者も多数参加されており、最先端の研究内容を直に聞くことができ、今後、私の研究を進めていく上でも重要な知見を多く得ることができました。私自身も、“*Synthesis of Helicobacter pylori* Lipopolysaccharide Partial Structures for Investigation of Their Biological Function” というタイトルでポスター発表を行い、ヘリコバクターピロリ菌のリポ多糖部分構造の合成と、それらの免疫刺激、および制御作用について報告しました。普段接する機会のないヨーロッパの研究者たちと直接議論できたポスターセッションが私にとって大変有意義なものとなったことは言うまでもありません。

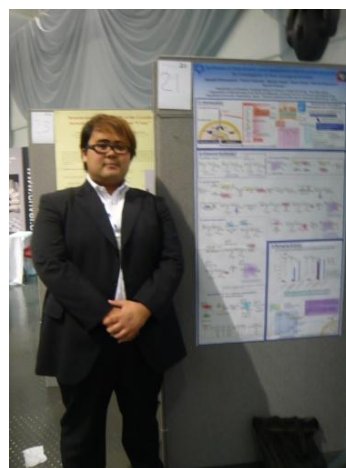
また、ポスターセッションとともに刺激的だったのが Banquet にて行われたダンスパーティーです。私も写真のように果敢に参加したのですが、老若男女問わずリズム感が良い他の参加者についていくのが精一杯で、普段の運動不足を露呈させてしまいました。しかし、多くの研究者と共にダンスを楽しみ、それを通じて交流を深めることができたダンスパーティーは貴重な経験となりました。

私のような学際領域で研究をしている者にとって自分と異なるバックグラウンドを持つ人々との情報交換は必要不可欠です。化学、生物学、医学など様々なトピックスが議論された本学会への参加は、異なる背景の研究者と密に接する機会を私に与え、その結果、国内外の関連研究の

中における私の研究の位置づけやその意義を客観的な立場から再確認することができました。最後になりましたが、このような素晴らしい経験の機会を与えて下さった皆様、経済的なご支援を賜りました BMC プログラムの皆様はこの場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



エディンバラ城



ポスター会場にて



Banquet の様子